

三春町出身写真家 飛田晋秀 写真展

「福島のすがた ～3・11で時間の止まった町～」

3月4日(火)～11日(火)

10:30～16:00 (8日のみ19時まで)

期間中、原発関連資料展示(向島図書館提供)、京都文教大学の震災ボランティアサークルの活動報告もあります!



飛田晋秀氏(三春町出身写真家)

1947年生まれ。福島県田村郡三春町出身、在住。
元々は、日本の職人さんの撮影を専門とするプロカメラマン。
3・11後、「事故を風化させない」「事故後の状況をありのままに知ってほしい」「福島県民の思いを知ってほしい」との思いから、福島第一原発事故の被災地を幾度となく訪れ、その現況を撮影。
現在日本各地で写真展と講演会を行っている。

※開催期間中は、飛田氏の写真の展示のみとなります。

DVD上映会(74分)

「逃げ遅れる人々 ～東日本大震災と障がい者～」

〈第1回〉3月7日(金) 19:00～20:30 (上映会のみ)

〈第2回〉3月8日(土) 13:30～16:00

(上映会+防災に関する意見交換会)

【お話】鈴木絹江さん(福島県田村市出身)



未曾有の大災害の中、障がいを持つ人々に何が起きたのか?

障がいゆえに、地震や津波から身を守れず、また必要な情報も得られない…。
「ここではとても生活できない」「周囲に迷惑をかけるから」と、多くの障がい者が避難をあきらめざるを得なかった。たとえ仮設住宅へ入居しても、そこでも大変な不自由が…。

原発事故により市民の姿が消えた避難区域には、取り残された障がい者が不安な日々を送っていた。

大震災に翻弄される障がい者と、その実態調査・支援に奔走する人々の、困難の日々。断片的にしか取り上げられない、被災地の障がい者を取り巻くさまざまな課題や問題点が浮かび上がる。

かたりあいの時間

「福島原発事故3年目 私たちの思い」

3月9日(日) 福島から母子避難されているお母さんたちの
14:00～16:00 声を聞いて下さい。

【お話】

石田紀郎氏(市民環境研究所)

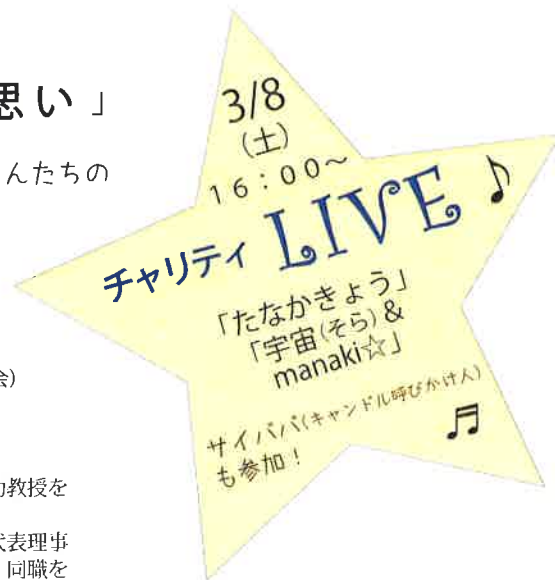
福島からの避難ママ

齋藤夕香さん(さぼーと紡～tumugi～)・長谷川沙織さん(笑顔つながろう会)



石田紀郎氏(特定非営利法人市民環境研究所)

1940年生まれ。63年に京都大学農学部卒業。同学部助手、助教授を経て、京都大大学院アジア・アフリカ地域研究科教授に。03年に退官した後、NPO法人「市民環境研究所」を設立し、代表理事に就任。その後、京都学園大学バイオ環境学部教授を兼任し、同職を10年4月まで務めた。40年来、公害や環境・農業問題を中心に、市民運動など幅広い分野で活躍中。



【会場アクセス】

京都文教マイタウン向島(京都銀行裏側)

・近鉄京都線「向島駅」より徒歩15分

※お車でのご来場はご遠慮ください。



近鉄向島駅から
まっすぐ北東へ
歩いて下さい。
途中、高架下を通り、
広場に出ます。